

第15期事業報告書

2009.04.01-2010.03.31

デジタルアーツ株式会社

www.daj.jp



すこし前までは想像もできなかったほど
いまの私たちはインターネットという
相手の顔が見えないものに寄りかかって生きています。

人も 企業も 社会も。

ある日

それらが私たちが偽らないとも限りません。

それらが私たちが裏切らないとも限りません。

それらが私たちが傷つけないとも限りません。

人が 企業が 社会が

インターネットに寄りかかるのではなく

寄り添って生きていけるように。

そんな未来を私たちは創造していきます。

デジタルアーツ株式会社
代表取締役社長

道具登志夫



子どもの笑顔がある。

それは
ごく当たり前の風景かもしれない。

でもその笑顔は
いつもそばにいる人が
いっしょうけんめいつくってくれた
素敵な贈り物。

それを守るのが
私たちのやるべきこと。

いつか
大きくなってその意味に気づいたら
きっと同じ笑顔を
だれかにプレゼントしたくなる。

私たちが創っているのは
未来の笑顔。

家庭向け市場 For Consumers

インターネットの世帯普及率は8割を超え、子どもたちにとっても非常に身近なものとなっています。しかしながら、子どもたちにとってふさわしくないサイトの氾濫、インターネットを介したいじめや事件の多発など、利便性の裏に潜む様々な問題が発生しています。こうした背景に基づき、子どもたちが安全にインターネットを利用できるよう、Webフィルタリングソフトを提供しています。



当期の取り組み

家庭向けインターネット接続機器の多様化に対応。ゲーム、パソコンはもちろん、インターネット対応テレビへの製品提供も開始。

インターネットが利用可能な機器の多様化に対応すべく、今後ますます普及が見込まれるインターネット対応テレビ向けにフィルタリングサービスの導入を推進し、国内大手テレビメーカー6社中3社に対してサービス提供を開始しました。また、家庭向けパソコンにおいては、これまでの国内大手9社に加え、「EeePC」、「ThinkPad」、

「KOHJINSHA EX」シリーズで新たに標準搭載された結果、「i-フィルター」搭載済みのパソコンを販売する企業は合計で12社となりました。さらに、今後インターネット接続端末として活発化するといわれる家庭用ゲーム機の分野でも「プレイステーション・ポータブルgo」、「ニンテンドーDSi LL」に提供を開始しました。

おとなになるって
どういうことだろう。

わからないまま
見えないものを見ようとして
子どもたちは背伸びをする。

私たちは同じようにして
彼らより少しだけ先に大人になった。

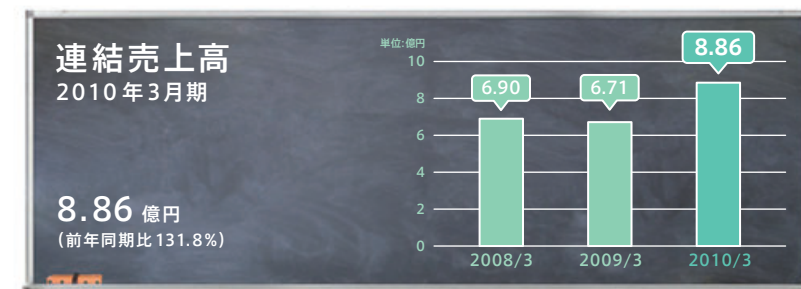
そのなかで
私たちが正しいと思ったもの。
私たちが美しいと思ったもの。
私たちが未来に伝えたいと思ったもの。

それらを選んで手渡してあげること。

それは
私たち大人にしか贈ることのできない
最高のギフト。

公共向け市場 For Public Sectors

これまでの国の政策等により、地方自治体や官公庁をはじめ、全国の小中高等学校でインターネット環境の整備が進みました。教員および生徒がパソコンを活用する機会が増えたことや、「情報漏洩対策」の観点からのセキュリティ強化の必要性も高まっており、インターネットにおける多くの問題を解決するソフトとして当社の Web/電子メールフィルタリングソフトの必要性がさらに高まっています。



当期の取り組み

官公庁向けの大型案件を複数獲得。また、公私立の小中高等学校での「i-FILTER」導入が全国約 24,000 校に。

当期の重点的取り組みとして、平成21年度補正予算「学校ICT環境整備事業」による公立学校でのIT環境整備の動きを踏まえ、学校に向けたWebフィルタリングソフト「i-FILTER」の販売促進を積極的に展開しました。当社は従来から教育分野で強固な顧客基盤を有しておりますが、この「学校ICT環境整備事業」の後押しもあり、公立小中

高等学校のみならず私立学校においても前年に比べて「i-FILTER」の導入が進みました。その結果、当社製品は全国約24,000校（平成22年3月末現在）で導入されるに至っています。このほか、官公庁向けの大型案件を複数獲得するなど、全体として当期の公共向け市場の売上は好調に推移しました。

ワールドワイドウェブ

それはその名の通り

世界中に蜘蛛の巣のように広がって

人や企業や社会をつないでいる。

そこには善意があり 悪意がある。

そして今日もインターネットを通して世界と関わる。

私たちが思い描くのは

あなたに関わるその世界を

信頼に満ちたものに変えていくこと。

私たちは創りつづける。

インターネットのその先で出会う

世界中の人や企業や社会が

互いに疑うことなく

言葉を交わせる未来を。

企業向け市場 For Enterprises

ビジネスシーンにおけるインターネットの目的外利用による弊害が問題視されている昨今、掲示板や Web メール等を利用した情報漏洩、就業時間内での私的利用による業務効率の低下や過度のアクセスによるトラフィックレスポンス低下、また電子メールの不正使用による情報漏洩やスパムメール被害への対応策として、Web/ 電子メールフィルタリングソフトを提供しています。



当期の取り組み

他社製品とのアライアンスを推進。モバイル環境でのセキュリティ強化など柔軟に市場ニーズに対応。

セキュリティ統合管理ソリューション提供の実現に向け、IT 関連企業各社とのアライアンスを推進しました。Web フィルタリングソフトでは、他社ウイルス対策製品との各種連携機能を実現した「i-FILTER」Ver.7.5 を、もう一つの柱である電子メールフィルタリングソフトでは、アーカイブ機能やスパムメール検知機能をさらに強化した「m-FILTER」

Ver.2.8 をリリースし、営業活動の強化もあり販売が順調に推移しました。また、持ち出し PC 向けセキュリティ対策の新製品「i-FILTER EndPoint Controller」を開発。パソコンを利用する場所を問わず、常に均一なセキュリティレベルを維持できるビジネスセキュリティツールとしてご好評をいただいております。

製品トピックス

Product Topics

当期は他社製品との連携や持ち出しPCへの対応、インターネット対応テレビへの製品提供など広範囲な製品展開を行いました。



IT関連企業各社と連携しセキュリティ統合管理ソリューションを提供

社内外のインターネット通信に対し、「i-FILTER」によるWebフィルタリングと「Kaspersky Anti-Virus for Proxy Server」によるウイルス対策機能を提供。将来的には監視・管理ログや管理ツールを統合するなど、連携メリットを最大限に活かす機能を追加予定。



また、統合ログ管理システム「Logstorage」との連携により完成した「Logstorage for i-FILTER」は「i-FILTER」の記録したWebアクセスログを長期保管。他製品の発生ログとともに、高速での追跡や分析レポートが可能に。

社外への持ち出しPCのセキュリティ対策を実現する「i-FILTER EPC」をリリース

PCの利用場所を自動認識、モバイル環境下でもセキュリティを保つWebフィルタリングにより、パソコンを利用する場所を問わず、常に社内と同じセキュリティレベルの維持が可能となり、より堅牢なセキュリティ対策を実現。



Webフィルタリングソフトの最新版「i-FILTER」Ver.7.5をリリース

現在急速に普及しつつある仮想化システムに対するユーザーニーズに向けて今回VMwareやHyper-Vに正式に対応するなど、より強固なセキュリティ機能を装備。

VER.7.5



「Lotus Notes/Domino」に電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER」が対応

送受信する全メールを一括でアーカイブ。また、「m-FILTER」の検索機能を用い、添付ファイルも含めた必要なデータを多様な検索条件で抽出、監査等の対策も万全に。さらに「改竄検知機能」による機密性の担保や、スパムメール対策などといった電子メール運用に不可欠なセキュリティ対策も一括で実現可能。



電子メールフィルタリングソフトの最新版「m-FILTER」Ver.2.8をリリース

新たに開発した「デザインプレートフィルター」の搭載により、アンチスパム機能を強化。スパムメールの検知率が向上するとともに、誤検知率も145万通中1通まで減少させるなど、業界最高レベルを実現。

VER.2.8

「i-フィルター」をインターネット対応TVに提供開始



「Woo」、「ブラビア」、「液晶テレビ AQUOS」に「i-フィルター」の提供を開始。インターネット対応テレビで安心してインターネットを楽しめる環境を実現。

「i-フィルター」がキッズデザイン賞を受賞

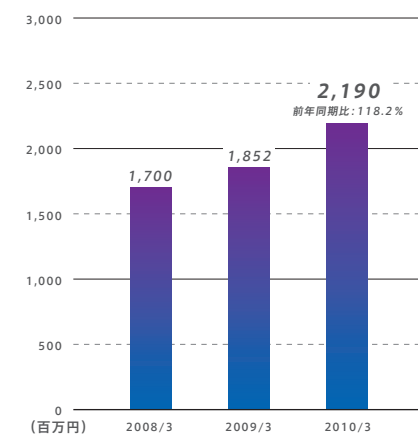
子どもの成長や環境に合わせた可変的なフィルタリング設定などが評価のポイントとなり、「第3回キッズデザイン賞」商品デザイン部門賞を受賞。



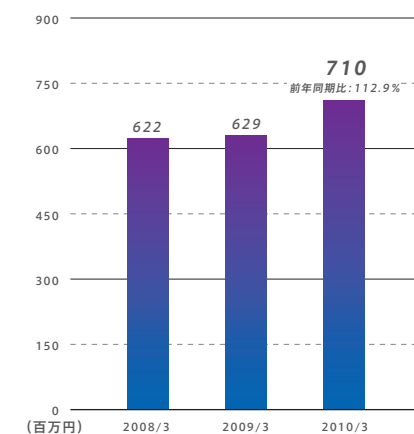
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

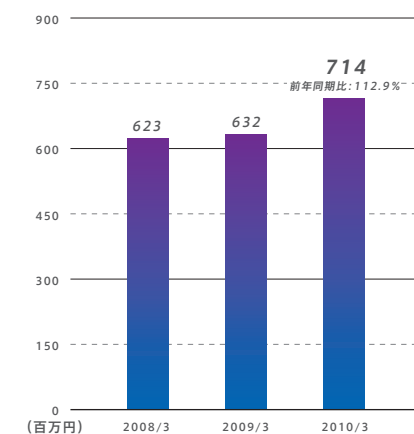
売上高 21億90百万円



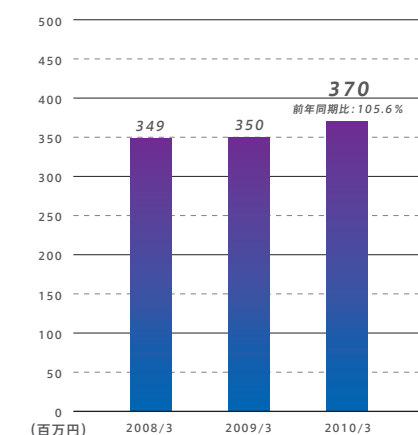
営業利益 7億10百万円



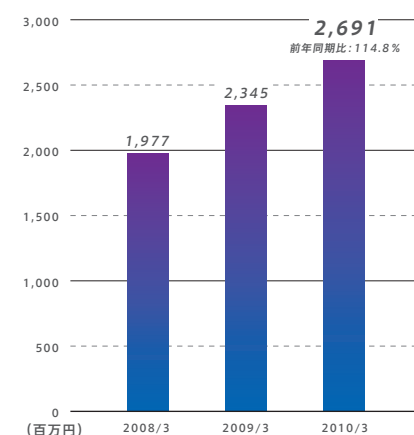
経常利益 7億14百万円



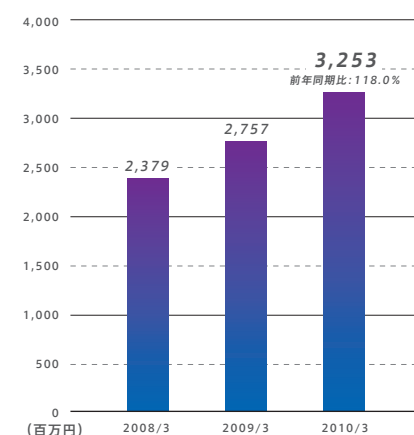
当期純利益 3億70百万円



純資産 26億91百万円



総資産 32億53百万円



連結貸借対照表

	(単位:千円)	
	2009/3	2010/3
資産の部		
流動資産	2,104,407	2,723,730
現金及び預金	1,341,763	1,528,890
受取手形及び売掛金	503,885	723,700
有価証券	199,649	401,149
製品	5,517	4,300
繰延税金資産	32,783	40,535
その他	20,807	25,155
固定資産	653,566	530,141
有形固定資産	61,006	60,345
建物	22,992	21,373
車両運搬具	—	6,685
工具、器具及び備品	38,013	32,286
無形固定資産	403,820	373,283
のれん	51,502	—
ソフトウェア	301,334	320,986
その他	50,983	52,296
投資その他の資産	188,740	96,512
投資有価証券	101,092	—
繰延税金資産	2,096	8,195
その他	85,551	88,316
資産合計	2,757,973	3,253,872

負債の部

流動負債	412,816	561,887
買掛金	1,476	490
未払法人税等	142,245	209,353
賞与引当金	46,302	58,761
前受金	—	190,725
その他	222,791	102,555
負債合計	412,816	561,887

純資産の部

株主資本	2,330,814	2,642,257
資本金	683,054	683,365
資本剰余金	669,689	670,001
利益剰余金	978,070	1,311,032
自己株式	—	△ 22,141
新株予約権	14,343	49,727
純資産合計	2,345,157	2,691,984
負債及び純資産合計	2,757,973	3,253,872

連結損益計算書

	(単位:千円)	
	2009/3	2010/3
売上高	1,852,903	2,190,737
売上原価	387,710	437,507
売上総利益	1,465,193	1,753,230
販売費及び一般管理費	835,697	1,042,312
営業利益	629,496	710,917
営業外収益	3,855	3,533
営業外費用	588	369
経常利益	632,762	714,081
特別損失	861	454
税金等調整前当期純利益	631,901	713,626
法人税等合計	281,044	342,969
当期純利益	350,856	370,656

連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	2009/3	2010/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	685,155	601,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 535,346	△ 455,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,773	△ 58,309
現金及び現金同等物の増加額	127,035	87,065
現金及び現金同等物の期首残高	814,857	941,893
現金及び現金同等物の期末残高	941,893	1,028,958

連結株主資本等変動計算書 (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2009年3月31日残高	683,054	669,689	978,070	—	2,330,814	14,343	2,345,157
連結会計年度中の変動額							
新株の発行	311	311	—	—	622	—	622
剰余金の配当	—	—	△ 37,694	—	△ 37,694	—	△ 37,694
当期純利益	—	—	370,656	—	370,656	—	370,656
自己株式の取得	—	—	—	△ 22,141	△ 22,141	—	△ 22,141
株主資本以外の項目の変動額(純額)	—	—	—	—	—	35,383	35,383
連結会計年度中の変動額合計	311	311	332,962	△ 22,141	311,443	35,383	346,827
2010年3月31日残高	683,365	670,001	1,311,032	△ 22,141	2,642,257	49,727	2,691,984

株式情報

(2010年3月31日現在)

Stock Information

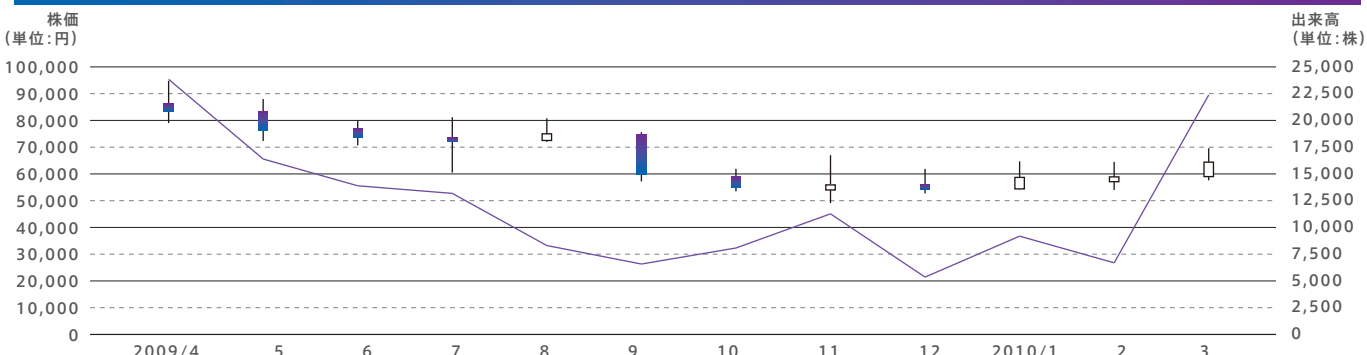
株式の状況

発行可能株式総数	450,360株
発行済株式総数	138,610株
株主数	10,167名

大株主

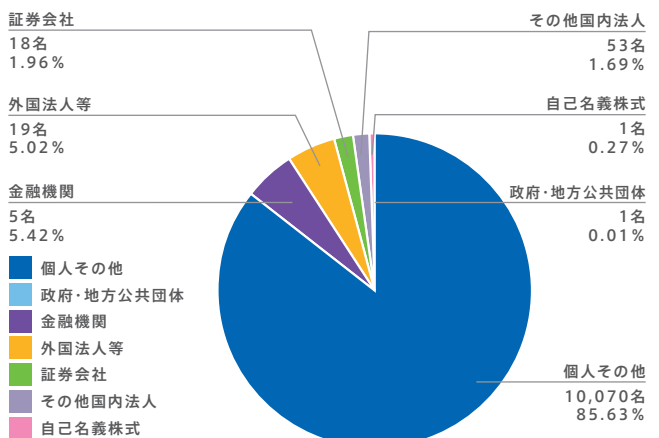
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
道具 登志夫	50,235	36.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,912	2.82
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウト (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	3,673	2.65
大阪証券金融株式会社	2,099	1.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,275	0.92
バンク オブ ニューヨーク シーシーエム クライアント アカウトズ ジュービー アルイシー アイティーアイシー (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,039	0.75
松井証券株式会社	804	0.58
道具 勇夫	720	0.52
岩崎 明美	720	0.52
マネックス証券株式会社	719	0.52

株式情報



所有者別株式分布状況

個人その他	118,688株
金融機関	7,506株
外国法人等	6,963株
証券会社	2,717株
その他国内法人	2,349株
政府・地方公共団体	15株
自己名義株式	372株
合計	138,610株



会社概要

(2010年3月31日現在)

Corporate Data

会社概要

商号	デジタルアーツ株式会社
英文商号	Digital Arts Inc.
設立	1995年6月21日
本社所在地	東京都千代田区永田町二丁目13番10号
事業内容	インターネットセキュリティ関連ソフトウェアの企画・開発・販売
資本金	683,365,622円
従業員数	116名

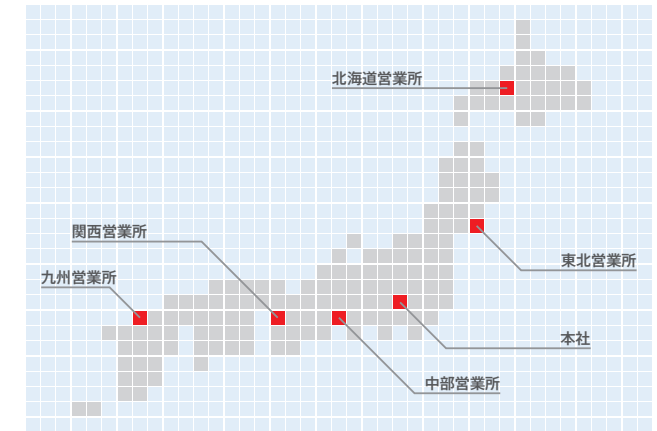
役員

代表取締役社長	道具 登志夫
取締役	高橋 則行
取締役	眞田 久雄
常勤監査役	若井 修治
監査役	窪川 秀一
監査役	上杉 昌隆

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目3番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)
電話問合せ	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター) TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告 電子公告掲載のホームページアドレス http://www.daj.jp/ir/ir_koukoku.htm 電子公告ができない場合の公告掲載新聞 日本経済新聞 ※貸借対照表および損益計算書を下記当社ホームページアドレスに掲載しております。 http://www.daj.jp/ir/ir_kessan.htm

事業所一覧



住所変更・配当金振込指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金のお受取り方法について

配当金を配当金領収証でお受取りの株主様には、確実に配当金をお受取りいただける口座振込のご利用をおすすめいたします。ご希望の株主様は、お取引の証券会社 (特別口座に登録されている株主様は特別口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社) へ所定の用紙をご請求の上、お申込みください。

DigitalArts® デジタルアーツ株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町二丁目13番10号
TEL 03-3580-3080 FAX 03-3580-3081

※デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/フィルター/i-FILTER/i-FILTER End Point Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File Scanはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
※本事業報告書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。